令和７年度　江戸川区立南葛西小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○進んで学びくふうする子 ○思いやりのある子 ○健康でたくましい子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・児童にとって、学ぶ喜びや楽しさを実感でき、安全・安心に過ごせる学校 ・教職員にとって、使命感と熱意をもち、子供とともに成長できる 学校 ・保護者にとって、安心して子供を預け、子供の成長が期待できる学校 ・地域にとって、学校と連携して教育活動を行い、ともに子供を育てる学校
前年度までの本校の現状	成果	・「体育科」の校内研究を通した、教員一人一人の授業力向上。 ・地域との連携。 ・要配慮児童への共通理解に基づいた円滑な対応や健全育成を図るための関係機関との連携。	課題	・南小スタンダードを基にした、学習規律の徹底と共通した授業の展開。（確かな学力の向上） ・体力向上のための記録会・授業展開・休み時間の活用。（健やかな体の育成） ・不登校傾向の児童への対応と関係機関との連携。（共生社会の実現に向けた教育の推進）

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○児童が「できた！わかった！！楽しい！！！」が実感できることによる知識技能の習得	・問題解決の過程を重視した学習スタイルの徹底 ・学習規律の徹底（南小スタンダードの徹底） ・ドリルパークの活用	・「めあて・まとめについて」教員肯定的評価100％ ・児童自己評価肯定的評価90％ ・１週間６０分の実施											
	○主体的に学習に取り組む態度・思考力・判断力・表現力の育成	・校内研究の実施 ・子供の興味関心を高める課題設定	・年間１回以上の研究授業の実施 ・「考えることが好き」児童自己評価90％ 「問題解決型学習」教員自己評価１００％。											
	○読書科の更なる充実	・司書教諭との連携及び学校図書館の利用	・クラスで月３回以上の利用 ・児童自己評価「読書が好き」９０％											
体力の向上	○体育授業の充実	・めあてを明確化した体を動かすことが楽しいと思える授業の実施	・教員自己評価「授業向上について」肯定的評価９０％　児童自己評価「運動は好きですか」肯定的評価90％											
	○休み時間の運動機会の確保・運動月間等の充実	・休み時間の外遊びの奨励 ・なわとび月間、かけあし持久走月間。運動遊びの充実	・教員自己評価「体力向上」、児童自己評価「運動が好き」肯定的評価90％											
	○生活リズムの向上	・生活リズムウィークの実施 ・学年便りで結果の周知と生活リズム向上の呼び掛け	・年３回の確実な実施。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○特別支援教育の充実	・特別支援教室巡回指導の充実 ・巡回指導教員、SC、巡回心理士との連携	・週１回担任と通級教員との打ち合わせの実施。 ・特別支援の視点を取り入れた授業の実施。教員自己評価９０％											
	○ユニバーサルデザインの視点での授業改善・環境整備	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・特別支援教育研修会の実施 ・主幹教諭による学習環境の確認　月１回											
	○エンカレッジルームの活用	・エンカレッジルームの教職員の協力体制の構築	・協力体制表の作成及び随時対応 ・空き時間の職員待機率　１００％											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校・いじめの未然防止並びに早期発見・早期対応	・学期に１回、いじめアンケート・いじめ関連の道徳授業の実施、研修 ・L-Gateの実施 ・SCやSSW等の外部機関と連携を強化し、不登校児童を関係機関とつなぐ	・年間３回実施率１００％・いじめ解消率１００％、研修の実施 ・不登校・いじめの未然防止即日対応 ・不登校児童との連携実施率１００％											
	○エンカレッジサポーターの効果的な利用	・エンカレッジサポーター事業の周知及び効果的な活用	・利用児童、利用保護者へのアンケートにて肯定的評価８０％											
	○安全・安心の居場所づくり	・安全指導の徹底 ・けが、事故の防止と対応	・月１回の安全指導 ・即日対応											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○取組の積極的な情報発信	・ＰＴＡ活動、地域行事への参加、ＨＰによる情報公開	・保護者アンケート肯定的評価８０％ ・学校HPの更新回数年間５００回以上											
	○地域の教育資源を活用した授業の取組	・地域等を活用した出前授業の実施 ・低学年は、地域見学の実施、授業へ活用。	・全学年出前授業を１回以上実施する。 ・児童自己評価「地域の行事に参加する」８０％　教員自己評価「地域との連携」１００％											
	○学校関係者評価を活用した教育活動の改善	・外部アンケートの実施、学校だよりへのフィードバックの実施	・年間5回のフィードバック											
特色ある教育の展開	○たてわり班活動による異学年交流	・たてわり班による全校遠足・たてわり班遊びなどの実施	・年間８回実施 ・児童自己評価「たてわり班活動」肯定的評価90％　教員自己評価「たてわり班活動の充実」１００％											
	○NSBの充実	・５、６年希望者による管楽器バンドNSBの実施	・管楽器発表会に出演 ・発表の場の年間３回設定											